

2025 年 4 月 6 日

(朝 10 : 30-11 : 30)

## 聖 日 礼 拝

司会 城尾公彦

前 奏	全員黙祷 「新聖歌 23 番」	ヒムプレーヤー
招 詞	イザヤ 43 章 10 ～ 11 節	司会者
頌 栄	「新聖歌 60 番」	ヒムプレーヤー
主の祈り	(プログラムに印刷)	全 員
使徒信条	(プログラムに印刷)	全 員
交読文	新改訳 8 番 詩篇 24 篇 885 頁	司会者・全 員
聖 書	ヨハネ 18 章 4 ～ 5 節	司会者
讃美歌	新聖歌 37 主よ命の言葉を	ヒムプレーヤー
祈 祷	司会者による祈り	
	子供達の祝福の為の賛美 484 番	ヒムプレーヤー
聖餐式	新聖歌 52 備え給いし	
讃美歌	新聖歌 111 生くる甲斐もなしと	ヒムプレーヤー
説 教	「わたしがそれである」	城尾マコト牧師
讃美歌	新聖歌 301 わが行く道いついかに	ヒムプレーヤー
	証とお知らせの時間	
献 金	新聖歌 55 番	
頌 栄	新聖歌 63 番	
祝 祷		城尾マコト牧師
後 奏	全員黙祷 新聖歌 59 番	



Youtube



Facebook



HomePage

## 今週のお話の要約

## ヨハネ 18 章「わたしがそれである」

今週の説教では、ヨハネ 18 章に記されたイエス・キリストの捕縛と裁判の場面から、特に「わたしがそれである」というイエスの宣言に焦点を当てます。

イエスが捕縛される場面で、兵士たちが「ナザレのイエスを」と言ったとき、イエスは「わたしがそれである」と答えられました。この言葉は単なる自己紹介ではなく、旧約聖書で神が自らを「わたしはある」と表現した言葉と同じ構造です。この宣言の力は、兵士たちが後ろに引き下がつて地に倒れたという反応からも見るすることができます。

この「わたしがそれである」という宣言には四つの重要な意味があります：

1. **神性の宣言** - イエスは自らが神であることを示されました。これは単なる人間の言葉ではなく、神の力と権威を示す宣言でした。
2. **愛と保護の約束** - イエスは「わたしを捜しているのなら、この人たち（弟子たち）を去らせてもらいたい」と言われ、捕らえられる状況でさえ弟子たちを守られました。これは主の愛と献身を表しています。
3. **真理の王としての宣言** - ピラトとの対話でイエスは「わたしは王である」と言われました。しかしその王国は「この世のものではない」と説明し、「わたしは真理についてあかしをするために生れ、このためにこの世にきた」と語られました。
4. **決断への招き** - イエスの「わたしがそれである」という宣言は、私たち一人ひとりに決断を迫ります。ペテロのように時に弱さを見せながらも信じるのか、ピラトのように真理を前にしながらも決断を避けるのか、それとも宗教指導者たちのように拒絶するのか。

今日も「わたしがそれである」と宣言されるイエスは、私たちの前に立っておられます。十字架へと向かわれたイエスの愛と真理に心を開き、この方こそ真の王であり救い主であると信じる決断を新たにしましょう。

「だれでも真理につく者は、わたしの声に耳を傾ける」(ヨハネ 18:37) という主の招きに、今日も応えていきましょう。

城尾 マコト